

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	Brillia湘南本鶴沼	階数	地上3F
建設地	藤沢市辻堂太平台二丁目13-37-32	構造	RC造
用途地域	第一種低層住居専用地域、準防火地域	平均居住人員	128人
気候区分	地域区分	年間使用時間	8,760時間/年
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2015年10月 予定	評価の実施日	2014年10月22日
敷地面積	3,210 m ²	作成者	奈良建設一級建築士事務所
建築面積	1,166 m ²	確認日	2014年10月22日
延床面積	2,850 m ²	確認者	奈良建設一級建築士事務所

外観/バース等
図を貼り付けるときは
シートの保護を解除してください

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.7

S: A: B+: B-: C:

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

参照値: 100%

建築物の取組み: 72%

上記+ 以外の: 72%

上記+: 72%

(kg-CO₂/年・m²)

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

Q2 サービス性能: 3.2

Q1 室内環境: 3.4

Q3 室外環境(敷地内): 3.3

LR1 エネルギー: 4.5

LR2 資源・マテリアル: 2.9

LR3 敷地外環境: 3.3

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Q のスコア = 3.2

Q1 室内環境 Q1のスコア = 3.4

Q2 サービス性能 Q2のスコア = 2.9

Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア = 3.3

LR 環境負荷低減性 LR のスコア = 3.7

LR1 エネルギー LR1のスコア = 4.5

LR2 資源・マテリアル LR2のスコア = 2.9

LR3 敷地外環境 LR3のスコア = 3.3

3 設計上の配慮事項

総合	その他
緑豊かな風光明媚な環境、古くからの別荘地として育まれ高い文化性、ビーチカルチャーを背景とした高い感性。そこにある暮らしが、自然とともにあり、生活として文化として豊かなものであるように。その豊かさが「自分らしい豊かな自然を過ごす」ことに重きを置いたライフスタイル。 自然、家族に囲まれて過ごすシンプルでストレスの無い「自分にぴったりのセルフメイド」の暮らし。	0
Q1 室内環境 光と風を感じる開放的なLDK空間。バルコニーライフの演出、外とのつながりを感じることができる。トランクルーム。	Q3 室外環境(敷地内) 周辺の緑を取り込み、緑をまとう森の中にたたずむ美術館のような外観。既存樹木と外構の緑が映え緑に包まれる空間。
LR1 エネルギー 省エネルギー対策等級4に相当する仕様。	LR3 敷地外環境 街並みに配慮した外観の色使い。
Q2 サービス性能 スロープの設置、点字ブロックの設置等でバリアフリーに配慮し快適に生活できる空間としている。	
LR2 資源・マテリアル 雨水貯留槽の雨水を浄化後、植栽散水として再利用する。	

CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される